

公共施設 個別施設計画の策定について

◎対象公共施設：市内の全施設（274施設）

1. 個別施設計画の概要

①計画数

各公共施設の種類ごとに整理して、次の12の個別施設計画を策定予定しています。

○学校施設 ○スポーツ施設 ○文化・その他教育施設 ○市営住宅
 ○子育て関連施設 ○福祉施設 ○コミュニティ施設 ○庁舎・防災施設
 ○観光産業施設 ○公園施設 ○病院施設 ○その他の施設

※計12の個別施設計画の策定

②計画期間

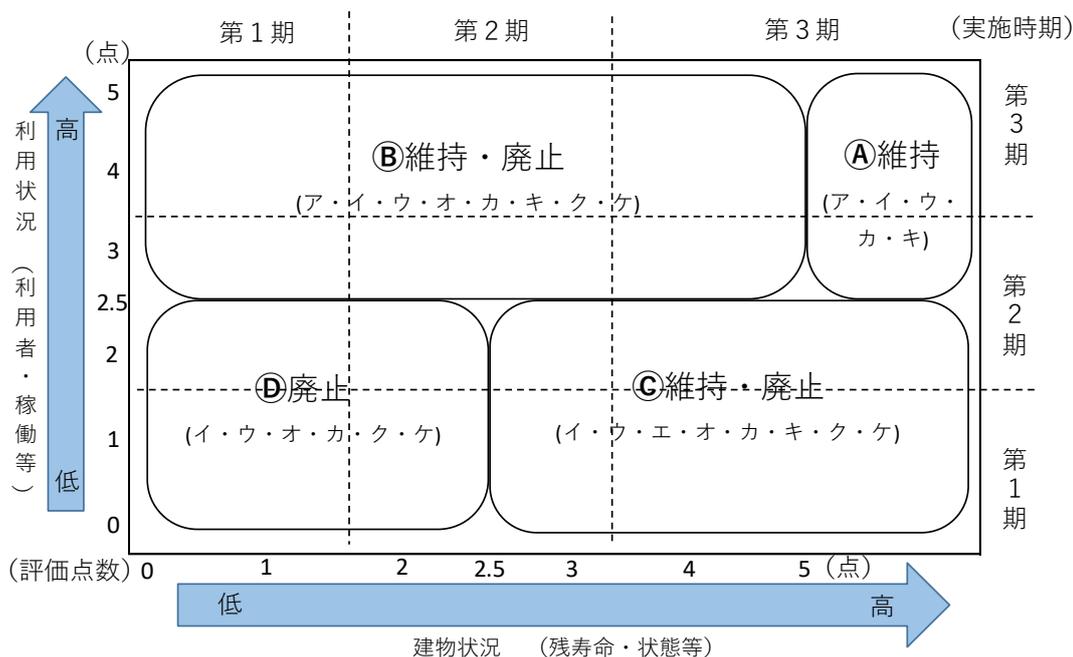
2019～2046年度までの28年間（坂井市公共施設等総合管理計画「H29.3策定済」に準じる）

③計画の内容

- ・各個別施設ごとの現在の施設の状況（建物状況・利用状況・維持管理費等）、将来の方向性、対策(施設マネジメント)の実施時期
- ・施設の種類ごとの対策費用（概算）の算出

④施設マネジメントの方法

各個別施設ごとの現在の施設の状況（建物状況・利用状況・維持管理費等）を点数化し、次の評価表により機械的に施設マネジメントを実施します。



ア. 維持 イ. 集約化 ウ. 複合化 エ. 転用 オ. 民間施設の活用
カ. 類似施設の統合 キ. 実施主体や管理運営主体の変更
ク. サービス提供方法の変更 ケ. 廃止

注) 主に①～④は建物の方向性、ア～ケは機能の方向性を示します。

2. 施設マネジメントの目標

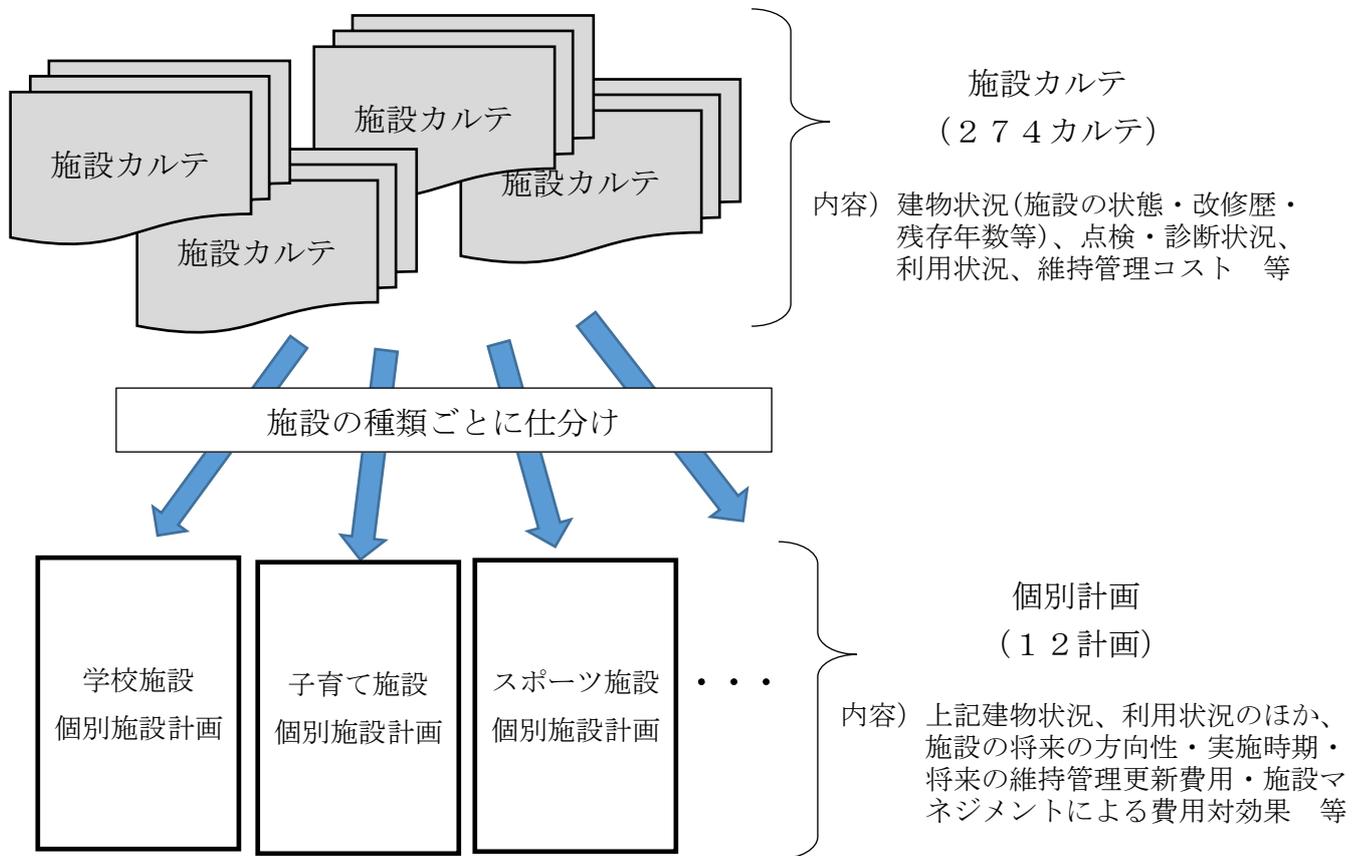
平成 58 年度までに延べ床面積 20% (約 8 万㎡) の削減

「坂井市公共施設等総合管理計画より」

3. 個別施設計画策定後の進捗管理

各個別施設を実際に更新・再編する際は、この計画の「将来の方向性」「対策(施設マネジメント)」「実施時期」を踏まえ、具体的な検討に入ることとなり、その際にはこれまでどおり関係者(関係団体・周辺住民・議会等)と十分な調整を行い、実施していきます。

参考) 個別施設計画策定のイメージ



○フォローアップ

- ・ 個別施設計画は、ホームページで公表
- ・ 施設カルテは、毎年更新
- ・ 個別施設計画は、10年毎に改定

(第1期：2019-2025年 第2期：2026年-2035年 第3期：2036年-2045年)

備考)

- ・ 第1期期間中に実施時期を迎える施設は、建物の方向性について具体的に示します。
- ・ 第2期以降に実施時期を迎える施設は、その施設が持つ機能(事業)についての方向性を示します。
- ・ 個別施設計画の改定に合わせ、将来の人口動態、財政状況で、方向性が変更となることもあります。